



レポート 2014年春夏号

○発行日:2014年4月 ○発行者:岩田ひろたか事務所 ○住所:松江市東本町5丁目70番 TEL:0852(24)2323(Fax兼)



まっすぐ。
(1) 地域資源を活かした産業振興
357億円

2月議会において総額5,272億円の予算が可決成立しました。産業振興や医療福祉教育の充実、防災を含めた県土整備のほか定住・中山間地対策に重点配分されました。

○ 高速道路、林道、空港、港湾等の産業基盤の整備を促進。
○ 中小企業の資金調達を支援する。
○ 地域資源を活かし、IT産業、観光・ものづくり産業、農林水産業などの産業振興と雇用の増進に取り組む。

まっすぐ。
(2) 医療・福祉・教育の充実
135億円

中小企業制度融資の融資枠650億円(H21-)を確保。H26年4月からの消費税増税に備え、消費税対策資金を創設。

○ 地域医療や高齢者の介護を支える人材の育成や、障がい者支援・子育て支援など、医療・福祉の体制整備を進める。
○ 学校教育の充実、学校・家庭・地域の連携協力による教育力の向上に取り組む。
○ 小学校3年から中学校3年の

2月議会総額5,272億円の 平成26年度当初予算を可決

まっすぐ。

2月議会において総額5,272億円の予算が可決成立しました。産業振興や医療福祉教育の充実、防災を含めた県土整備のほか定住・中山間地対策に重点配分されました。

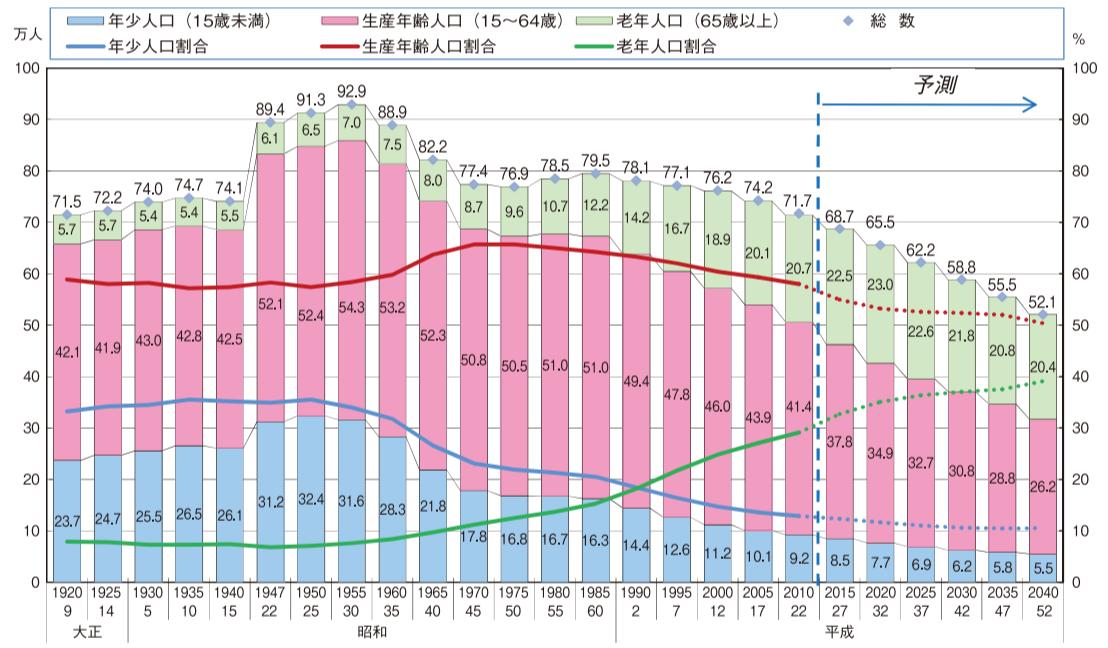
まっすぐ。
年を残すのみとなりました。3年間全力で県政課題に取り組んできましたが、見えるのは課題ばかり、人口の減少は特に深刻で今年中に70万人を割り込んでしまいます。1年間に生まれる子供の数は約5,500人で出生率は1・68と全国6位。これまでの少子化対策が少しずつ実を結んでいますが、母数となる人口が少ないために人口減少に歯止めがかからず、高齢者が亡くなる自然減や社会減によって年間5,000人ペースで減少しています。このまま減少傾向が続ければ2040年には52万1,000人に人口減少は①労働力人口の減少による経済成長への影響②社会保障の現役世代への影響③地域社会の活力の低下④子ども

平成26年度がスタートしました。県議会議員の任期もあと1年を残すのみとなりました。

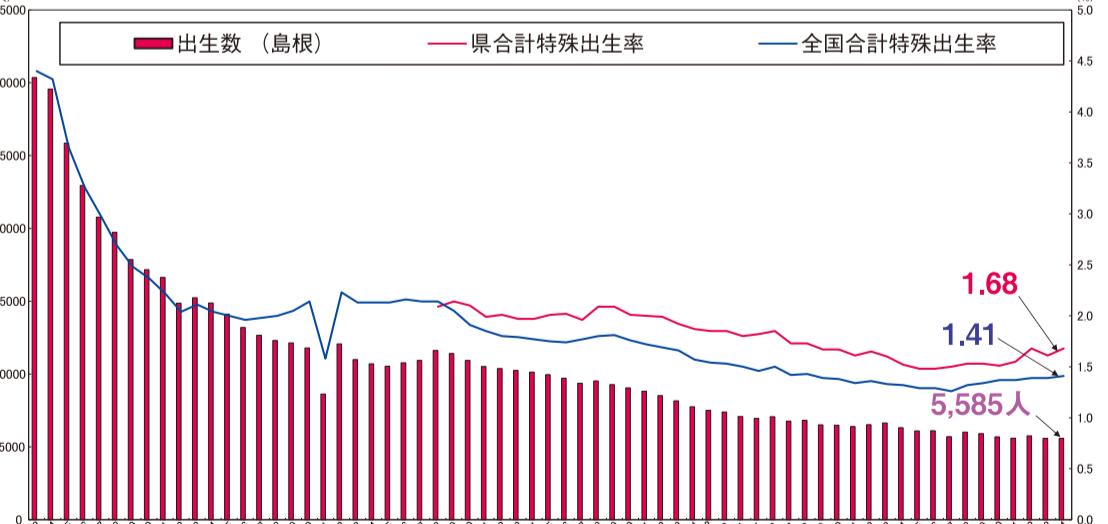
島根県人口70万人割れへ。 満足度の高い地域への転換を!

もの健やかな成長への影響など、産業経済面や社会生活動などさまざまな分野に多大な影響を与えることが危惧されます。人口減少対策としては産業振興、定住対策、少子化対策などが必要ですが、こうした施策を実施するにあたって「人交密度」を上げることが重要です。全国の地方が人口減少対策に取り組む中で、「島根で働きたい」「島根に住みたい」と思うような情報発信、観光による交流人口はもちろん、産業交流、県内外の地域間交流を活発化させて「元気な地域づくり」が求められます。まずは「島根県に住んでいる人が満足できる」これを柱に本年度は活動してまいります。

■島根県の将来推計人口



■島根県の合計特殊出生率



○ 防災対策について

まっすぐ。
(問) 島根県原水力防災訓練の住民アンケートの結果で松江市において、訓練広報がよく聞こえたと回答した方は40%、多少聞こえにくかったは29%、余り聞こえなかつたは16%、聞こえなかつたは15%だった。原子力発電所が立地し、本来、第一報が最も伝わらなくてはいけない松江市が一番低い数字だった。例えば、新潟県長岡市などでは、FMラジオを使つて、大規模災害発生時に自動的にラジオのスイッチが入り、緊急情報を伝えるシステムを運用している。しっかりと住民に情報を届けるために、さらなる情報伝達の充実が必要なのではないか。

(答弁) 住民の方々に災害情報を迅速かつ的確に伝わることは極めて大事なので、市町村と一緒に、防災行政無線、広報車、ケーブルテレビ、各家庭に設置された屋内スピーカー、防災メールなどさまざまな伝達方法を活用するよう

○ 再生可能エネルギーについて

まっすぐ。
2月議会



日々の活動

1月に民主党の海江田万里代表が来県、島根県内の再生可能エネルギーの取り組みなどを視察されました。出雲市の河下港のメガソーラーを視察。河下港工業団地は、元々県が産業誘致のために整備した土地でしたが、長年未利用だったのを民間企業が借り受け、ソーラーパネルを設置して発電

(答弁) 東南アジアでの支援の拠点は、現地の事情に詳しいコンサルタントに委託をして、水先案内の役割を担つてもらう。県内の企業対して、セミナーなどを開催して海外進出についての考え方や県の支援方法を説明する会を開きたい。支援をきめ細かくやつていこうことで、推進したい。

(問) 本県でもこれまで県内企業による海外展開や海外販路開拓への支援に取り組んできており26年度予算には、東南アジア進出を中心とした企業の海外進出を支援する現地拠点を置くことが盛り込まれている。今後本県企業の海外展開への支援をどのように充実をしていくのか。その一方、企業の海外進出は国内の産業の空洞化を招くのではと懸念もある。こうした中で、どのように企業の海外進

に取り組んでいる。自宅で寝たきりの方や障がいのある方々に対しては、消防団、自治会といった住民による声かけというのが大変大事で、支援を必要とする方の名簿を作成するとか、情報伝達手段をさらに充実をするとか、防災訓練で実際に確かめるということをやつていきたい。

質問させていただきたいと思います。皆さん
が島根県の宝は何かと尋ねられたとき、歴史、文化、伝統といつ
た答えとともに、豊かな自然と答え
る方も多いはずです。特に、私が住む
松江市は、水の都と言われ、非常に豊
かな水環境が自慢の町でもあります。
その象徴が言わずもがな、宍道湖
です。

POの方々、国土交通省、沿岸の小学校を始め関係の方々が長年にわたって取り組んできた。宍道湖の水に直接触れる、砂地を歩く、そういうことで、宍道湖の生態系あるいは自然の状況等も実際に経験をされるということです。子どもたちの関心も高まつただろうというふうに思う。今後も、国土交通省や沿岸市と連携して、子どもたちにかけがえのない宍道湖の大切さを伝えていく努力をしていきたい。

(問) 宍道湖のヨシ植栽事業が来年度から無くなると聞いています。毎年約1,000人規模の住民が参加して13年間続けられてきたこの事業は、子どもたちが宍道湖の環境に目を向ける貴重な環境教育の場となっていました。今後どのような形で、子どもたちに宍道湖の水環境の魅力や大切さを伝えていくのかお考えをお尋ねいたしま

○穴道湖の 環境保全について

A photograph showing a group of four people seated around a dark wooden conference table in a formal setting. From left to right: a woman with long dark hair seen from behind; a man in a blue shirt; a bald man in a dark suit; and another person partially visible on the right. The room has vertical wood paneling on the walls and framed portraits above the table. A small floral arrangement sits on the table.

◎ 口シア沿海 地方議会議員と交流



今年も竹島の日記念式典に参加。この回目の式典ですが、竹島をめぐる問題が大きく進展しない中で『形骸化』しているとの指摘もあります。北半領土に関しては国が前面に立つて賛成したり組んでいるにも関わらず、竹島についてはまだまだ取り組みが遅れています。領土、領海について関心を持つこと、領海を含めると世界第6位の海上大国だからこそ重要ですよ。

1回きりで途切れてしまった東京での集会についても引き続き開催をめでていきます。

○島根県豪雨災害 被災地のいま



県議会建設委員会の調査で江津市津和野町・南町など被災した。被災地を調査しますが、ま

こんなにちは。岩田ひろたか事務所所長、座敷わらしです(●>ω<)ノ
上がりましたね～。消費税。ガソリン価格。物価…
(`-ω-`;;)ゞ
私は増税前に思い切って何か買おう!と思い、何を買おうかじっくりと考えました。
でも…特に思いつかなかつたんです。必要な物つて、ちゃんと持っているんだな～と実感しました。
春が訪れ気温も上がつたし気分を上げて、うだつが上がらない日々を過ごそう!と、思います(笑)
つつましく、節約を楽しみながら…(●'ω'●)ゞ
年度が変わり、毎週水曜日は座敷わらしが出張に出かける事になりました。
水曜にご用の方は、恐れ入りますが下記電話番号までご連絡ください。
水曜以外の平日は変わらず岩田ひろたか事務所にてお客様をお待ちしております!

民主党島根県連 ☎0852-24-1121



まだ応急処置すら手がついていない箇所が多数です。県でも現場に専任で置かなければならぬ技術者が複数の現場を掛け持ちすることを許可して、地元の業者が効率よく復旧工事を受注できるよう、早期復旧への環境整備をしていますが被災箇所の多さにどうしても時間がかかるつているのが現状です。現在はJRの復旧と幹線道路を優先していますが、今年の梅雨時期や台風シーズンに間に合わず更なる被害拡大につながらなければいいがと心配されています。担当委員会としても早期の復旧に取り組んでまいります。

◎竹島の日記念式典